

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻コース	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児リハビリテーション研究法Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻コース	学期	後期	教室名	1003教室
担 当 教 員	林 亜遊				
実務経験と その関連資格	実践:作業療法士として精神科病院で5年勤務。精神障害者に対する地域における作業療法を15年以上実践。 資格:認定作業療法士・教育修士(専門職)・認定医学教育専門家。ICR臨床研究入門 臨床研究の基礎知識講座、 日本学術振興会研究倫理eラーニングコース修了。 発表:日本作業療法学会、近畿作業療法学会、大阪作業療法学会、日本医学教育学会大会などで学会発表、論文 発表など30編以上発表。 役員:作業療法と生活リスクコミュニケーション学会理事・日本作業療法教育学会理事。日本作業療法学会・近畿 作業療法学会・大阪府作業療法学会・日本医学教育学会大会・リハビリテーション教育研究で演題査読員。日本作 業療法学会座長。作業療法教育学会で論文査読員。臨床実習指導者講習会講師・ファシリテーター。現職者共通 研修講師。				
《授業科目における学習内容》					
小児領域の現場における問題を多職種連携を以てを解決するために実践研究を実践する。					
《成績評価の方法と基準》					
研究成果発表の作成、発表およびそれらにまつわる行動評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
参考図書:理学療法研究法、作業療法研究法					
《授業外における学習方法》					
現場の問題に関して関心を持ち、文献を読む、先輩の話を聞く、現場の先生に聞く、学生同士のディスカッションを重ねるなど行ってください。					
《履修に当たっての留意点》					
データの保管も研究においてとても重要です。各データの取り扱いに注意し履修してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 1 回	授業を通じての到達目標	オリエンテーションを受けて授業の進め方を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	授業内容を理解する	
	各コマにおける授業予定	オリエンテーション			
第 2 回	授業を通じての到達目標	研究計画書を見直す	テキスト 配布資料 パソコン	研究計画書を持ってくる	
	各コマにおける授業予定	研究計画書			
第 3 回	授業を通じての到達目標	実験の仕方を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	実験計画書を持ってくる	
	各コマにおける授業予定	実験の仕方			
第 4 回	授業を通じての到達目標	アンケートの作り方を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	アンケートを作成する	
	各コマにおける授業予定	アンケートの作り方			
第 5 回	授業を通じての到達目標	アンケートの集計の仕方を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	アンケート結果を集計する	
	各コマにおける授業予定	アンケートの集計の仕方			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 6 回	授業を通じての到達目標	図・表の作り方を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	図・表を作る
	各コマにおける授業予定	図・表の作り方		
第 7 回	授業を通じての到達目標	緒言の書き方を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	緒言を画く
	各コマにおける授業予定	抄録の書き方		
第 8 回	授業を通じての到達目標	方法の書き方を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	方法を書く
	各コマにおける授業予定	方法の書き方		
第 9 回	授業を通じての到達目標	考察の書き方を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	考察を書く
	各コマにおける授業予定	考察の書き方		
第 1 0 回	授業を通じての到達目標	スライドの作成の仕方を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	スライドを作成する
	各コマにおける授業予定	スライドの作成の仕方		
第 1 1 回	授業を通じての到達目標	先輩の発表を聞いて研究の理解を深める	テキスト 配布資料 パソコン	先輩の話を聞いて研究内容を深める
	各コマにおける授業予定	先輩の発表①		
第 1 2 回	授業を通じての到達目標	先輩の発表を聞いて研究の理解を深める	テキスト 配布資料 パソコン	先輩の話を聞いて研究内容を深める
	各コマにおける授業予定	先輩の発表②		
第 1 3 回	授業を通じての到達目標	先輩の発表を聞いて研究の理解を深める	テキスト 配布資料 パソコン	先輩の話を聞いて研究内容を深める
	各コマにおける授業予定	先輩の発表③		
第 1 4 回	授業を通じての到達目標	スライドの途中経過発表会を通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまとめる
	各コマにおける授業予定	スライドの途中経過発表会		
第 1 5 回	授業を通じての到達目標	スライドの途中経過発表会を通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまとめる
	各コマにおける授業予定	スライドの途中経過発表会		

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	こどもリハビリテーション支援専攻コース	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	小児リハビリテーション研究法Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	こどもリハビリテーション支援専攻コース	学期	後期	教室名	1003教室
担 当 教 員	林 亜遊				
実務経験と その関連資格	実践:作業療法士として精神科病院で5年勤務。精神障害者に対する地域における作業療法を15年以上実践。 資格:認定作業療法士・教育修士(専門職)・認定医学教育専門家。ICR臨床研究入門 臨床研究の基礎知識講座、 日本学術振興会研究倫理eラーニングコース修了。 発表:日本作業療法学会、近畿作業療法学会、大阪作業療法学会、日本医学教育学会大会などで学会発表、論文 発表など30編以上発表。 役員:作業療法と生活リスクコミュニケーション学会理事・日本作業療法教育学会理事。日本作業療法学会・近畿 作業療法学会・大阪府作業療法学会・日本医学教育学会大会・リハビリテーション教育研究で演題査読員。日本作 業療法学会座長。作業療法教育学会で論文査読員。臨床実習指導者講習会講師・ファシリテーター。現職者共通 研修講師。				
《授業科目における学習内容》					
小児領域の現場における問題を多職種連携を以てを解決するために実践研究を実践する。					
《成績評価の方法と基準》					
研究成果発表の作成、発表およびそれらにまつわる行動評価					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
参考図書:理学療法研究法、作業療法研究法					
《授業外における学習方法》					
現場の問題に関して関心を持ち、文献を読む、先輩の話を聞く、現場の先生に聞く、学生同士のディスカッションを重ねるなど行ってください。					
《履修に当たっての留意点》					
データの保管も研究においてとても重要です。各データの取り扱いに注意し履修してください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第 1 6 回	授業を通じての到達目標	スライドの途中経過発表のフィードバックを受けて内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまと めてくる	
	各コマにおける授業予定	スライドの途中経過発表のフィードバックを受ける			
第 1 7 回	授業を通じての到達目標	抄録の書き方を理解する	テキスト 配布資料 パソコン	抄録を書く	
	各コマにおける授業予定	抄録の書き方			
第 1 8 回	授業を通じての到達目標	卒業研究学科内発表会を通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまと めてくる	
	各コマにおける授業予定	卒業研究学科内発表会			
第 1 9 回	授業を通じての到達目標	卒業研究学科内発表会を通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまと めてくる	
	各コマにおける授業予定	卒業研究学科内発表会			
第 2 0 回	授業を通じての到達目標	卒業研究学科内発表会フィードバックを通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容を修正する	
	各コマにおける授業予定	卒業研究学科内発表会フィードバック			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第 2 1 回	授業を通じての到達目標	発表会に向けて資料を作成する	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまとめる
	各コマにおける授業予定	資料作成		
第 2 2 回	授業を通じての到達目標	卒業研究発表会を通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまとめる
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表会		
第 2 3 回	授業を通じての到達目標	卒業研究発表会を通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまとめる
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表会		
第 2 4 回	授業を通じての到達目標	卒業研究発表会を通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまとめる
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表会		
第 2 5 回	授業を通じての到達目標	卒業研究発表会を通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまとめる
	各コマにおける授業予定	卒業研究発表会		
第 2 6 回	授業を通じての到達目標	発表会に向けて資料を作成する	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容を修正する
	各コマにおける授業予定	資料作成		
第 2 7 回	授業を通じての到達目標	発表会に向けて資料を作成する	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容を修正する
	各コマにおける授業予定	資料作成		
第 2 8 回	授業を通じての到達目標	実践研究発表会を通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまとめる
	各コマにおける授業予定	実践研究発表会		
第 2 9 回	授業を通じての到達目標	実践研究発表会を通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまとめる
	各コマにおける授業予定	実践研究発表会		
第 3 0 回	授業を通じての到達目標	実践研究発表会フィードバックを通じて研究内容を深める	テキスト 配布資料 パソコン	発表内容をスライドにまとめる
	各コマにおける授業予定	実践研究発表会フィードバック		